



2025年12月7日 No.256

日本共産党 品川区議会議員 区政報告
のだて 稔史 ニュース

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

水害対策の防水板設置等工事助成 助成額を拡充し全地域対象に

●対象地域

拡充前 標高5m以上に立地し、地盤を掘り下げた建築物や半地下駐車場等は対象外	➡	拡充後 区内全域 の建築物が対象
---	---	----------------------------

●助成額

対象		助成額（前）		助成額（後）
個人	助成割合	費用の4分の3	➡	費用の 5分の4
	品川区民	上限100万円		同じ
	その他	上限50万円		同じ
法人	助成割合	費用の2分の1	➡	費用の 5分の3
	1年以上区内に支店等の登記	上限100万円		上限 150万円
	その他	上限50万円		上限 75万円

区議会で質問し、実現

9月の大雨で区内では住宅の床上浸水527件、床下浸水305件、事業所等368件で計1200件の被害（10月29日現在）がありました。

私は住民の被害の実態を知らせながら、対策の1つとして防水板設置等工事助成の拡充を求めました。区は「検討する」と答弁し、左のように助成制度の拡充が実現しました。

ウラへ続く

問合せ：河川下水道課 水辺の係 Tel03-5742-6794 FAX03-5742-6887

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、40歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

区民の実態が力に

私は10月の決算委員会で防水板設置等工事助成が以前は標高5m以上も対象になっていたことを示し、拡充を求めました。

区は今回の被害を受け「より使いやすい制度となるよう検討する」と答えていました。

また、私は助成額についてもそんなに負担できないという声も紹介し、助成割合の引き上げを求めました。

区は「助成割合を引き上げることとは考えてない」と答弁。工事費用が「個人で平均50万円程度」のため「一定満たしている」との答弁でした。

しかし、区が助成の拡充に踏み切ったのは区議団の緊急要望や区民の被害の実態を反映したものだと思えます。



▲助成制度の区ホームページはこちら

その他の支援策も拡充

①省エネ設備更新助成金の要件を今回の被災によるものは申請前に更新した設備も対象に。

②都と連携し、立会川の暫定貯留施設の容量を3.5万㎡から7万㎡に拡大。

③立会川の両岸に溢水防止板を増設。

区政懇談会

12月14日（日）午前10時～

ゆたかシルバーセンター

（豊町3-2-15）

福祉や平和、ジェンダー平等など区政の変化を報告します。ご要望もお寄せ下さい。ぜひご参加下さい。

従来の保険証は来年3月末まで利用できます

健康保険証が2日で期限切れになりました。マイナ保険証を登録していない人には資格確認書が既に送られています。資格確認書は従来の保険証と同じように使用することができます。

従来の保険証も国の特例措置により

来年3月末までは今まで通り利用出来ますので念のため捨てないようにしてください。

マイナ保険証を登録した人も登録解除すれば資格確認書が送られてきます。



法律相談

無料

12月16日（火）午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちら